

次の文章をよく読んで、6 ページから 7 ページにある問いに答えなさい。

1 ページの地図は東京湾沿岸のもので、今までに埋め立てられた場所が時代ごとに示されています。東京湾は神奈川県かながわの観音崎と千葉県ちばの富津岬をむすぶ最も狭い場所を境にして、北側を内湾、南側を外湾といいます。内湾沿岸は人工的に埋め立てられた海岸線がほとんどです。とくに東京都の沿岸は、埋め立て地が狭い河口部分にいくつもつづられています。「お台場」周辺や「羽田空港」などがそうです。地図からわかるように、東京湾の沿岸は江戸時代から埋め立てられてきました。いまや自然のままの海岸は内湾にはほとんどありません。とりわけ東京都には自然海岸がまったくないのです。そして内湾全体に広がる人工海岸の多くには工場や港があり、普通の人は立ち入りにくい場所になっています。

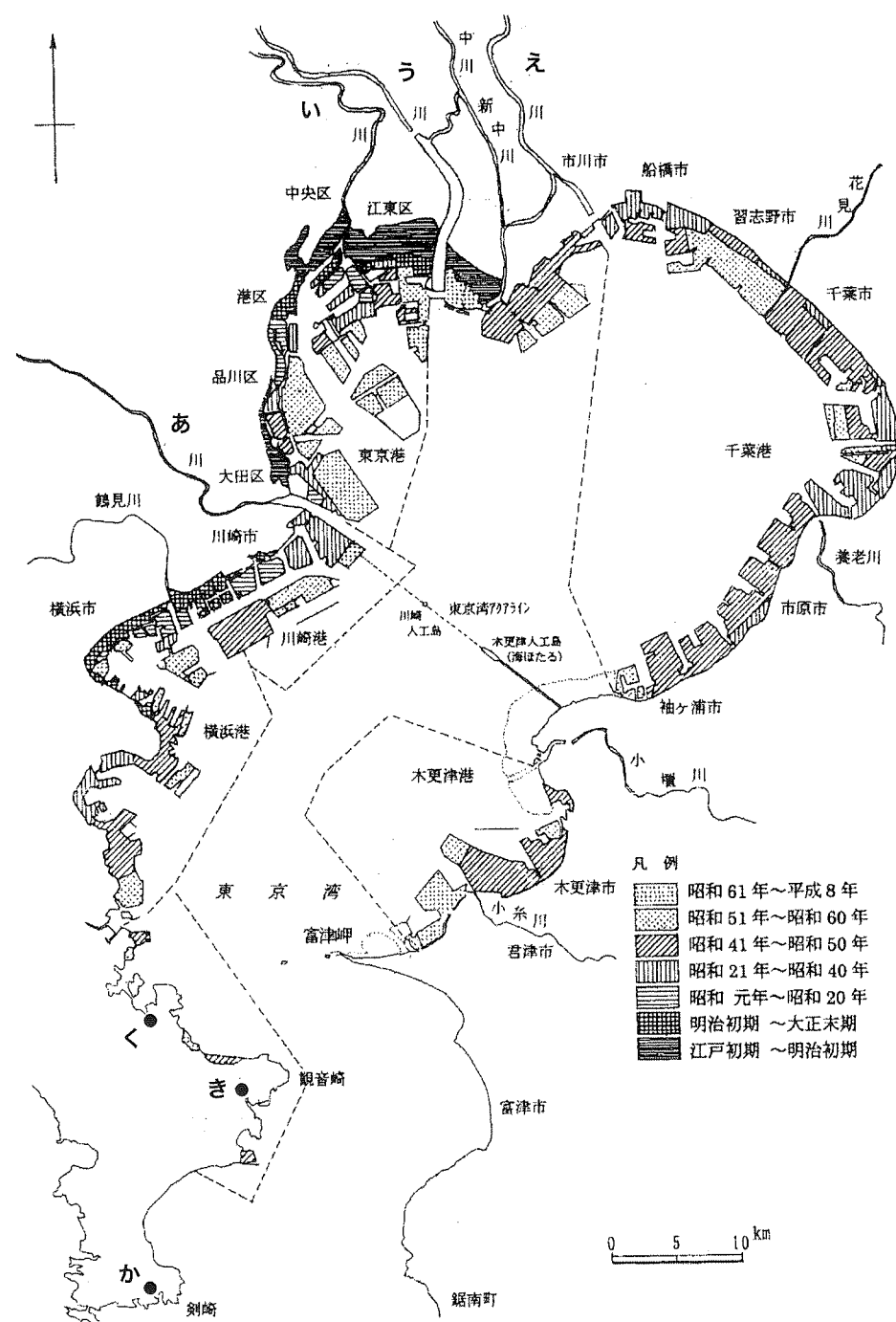
東京湾は東京都、神奈川県、千葉県にまたがる大きな湾で、東京湾に流れ込む川の流域に住む人びとをあわせると、約 3000 万人がかかわりをもっています。多くの人びとにとって最も身近にある海が東京湾なのです。これから、この東京湾の変化と人びとのかかわりをみていきましょう。

縄文時代の初めころ、気候が温暖であったときには海面は今より数メートル高く、東京湾の海岸線は関東平野の奥まで入り込んでいました。それは（①）の分布からわかります。

やがて、朝廷が律令制度をつくると、関東平野にあった武蔵国は東山道に、ア.安房国・上総国・下総国は東海道に組み込まれました。当時の東海道は相模国の三浦半島から東京湾を横断していました。ヤマトタケルが三浦半島の走水から海を渡った伝説が『古事記』に書かれています。また、（②）が挙兵直後に平家軍に敗れたあと、房総半島に舟で渡って逃げた話は有名です。このことから、東京湾を横断する海の道がいつの時代も大切であったことがわかります。

鎌倉に（②）が幕府を開くと、そこから関東各地へ通じる街道が整備されていきました。とくに三浦半島を横断して六浦の港（湊）に出る街道は重要でした。六浦から対岸の木更津に船で渡り、房総半島各地に行くことができたのです。六浦は室町時代前半まで栄えていた港でした。戦国時代にはこうした港そのものや、イ.沿岸の重要な産物の利益をめぐる争いが続くことになりました。まだこの時代、江戸は栄えておらず、その東の土地は利用しにくい広大な湿地でした。

徳川家康が江戸に入ってまず行ったことは、城や町の整備ではなく、ウ.運河を張りめぐらすことでした。運河は江戸の東にあるいくつかの河川と結びつけられ、利根川や霞ヶ浦とつながりました。それによりエ.東北地方からの船は、銚子から利根川をさかのぼり、積み荷を別の船にのせかえて運河から江戸に入ることができるようになりました。そうした整備を行った上で、幕府は80年くらいかけて江戸城の目の前の入り江を埋め立て、大名屋敷が置かれた武家地や町人の住む町を整備していきました。



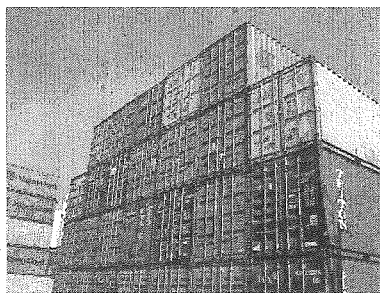
幕末にはオ、浦賀にペリーが来航し、幕府は日米修好通商条約で神奈川の開港を約束しました。しかし実際には東海道に直結する神奈川を避け、対岸の横浜村を埋め立てて開港地としました。これが横浜港の始まりです。1ページの地図をあらためて見ると、横浜港沿岸も明治時代から大正時代に埋め立てが始まっています。横浜港は外国船に開放され、とくに（③）を輸出する貿易港として発展し、関西の神戸港と競いました。

東京港は関東大震災後の復興のためにつくられました。救援物資が海から運ばれることになり、多くの埠頭がつくられたのです。ただ、第二次世界大戦前の東京港は整備が不十分で、水深が浅い東京湾の港に大型船が接岸することは難しく、「はしけ」が港と船の間を行き来し、カ、都市のゴミなどを運搬する風景も見られました。地図からわかるように、東京港から川崎港を経て横浜港までの沿岸は昭和時代にしだいに整備されて、多くの工場が集まり、京浜工業地帯と呼ばれるようになっていきました。

第二次世界大戦後、日本の復興とともに、港の役割は大きくなっていきます。東京湾の港がますます重要になり、京浜工業地帯の港だけでは不足してきました。そのため千葉県沿岸にも大型船が停泊できる港が整備されていきました。ここにはもともと海水浴や潮干狩りのために人びとがやってくる自然の砂浜や干潟が広がっていました。やがて市川市から袖ヶ浦市にかけて千葉港がつくられ、港周辺にはつぎつぎに工場がつくられて、埋め立て地が拡大していきました。大型船が入港するため、遠浅の海底を掘り下げる工事も行われました。千葉港は日本有数の港になりました。

東京湾に面した横浜、川崎、東京の各港には、最近大きな変化がありました。これらの港はもともと日本でもキ、コンテナをあつかう重要な港でしたが、2010（平成 22）年 8 月、政府が横浜、川崎、東京港をまとめた京浜港を「国際コンテナ戦略港湾」のひとつに指定しました。大量のコンテナをあつかう港として国が京浜港を指定し、これからの開発に力を入れることにしたのです。現在までの世界の主要なコンテナ港は次のページの表のようになっています。

コンテナの写真 1



コンテナの写真 2



表 1 コンテナ取りあつかい量（2009 年）		
順位	港名（国名）	個数
1	シンガポール	2587 万
2	シャンハイ（上海・中国）	2500 万
3	ホンコン（香港・中国）	2098 万
4	シェンチェン（中国）	1825 万
5	プサン（釜山・韓国）	1185 万
・	・	・
26	東京	374 万
36	横浜	280 万

注 個数は 20 フィート（約 6 m）コンテナを単位としています。

表 2 コンテナ取りあつかい量（1975 年）		
順位	港名（国名）	個数
1	ニューヨーク（アメリカ）	162 万
2	ロッテルダム（オランダ）	108 万
3	神戸	90 万
4	ホンコン（イギリス領）	80 万
5	オークランド（アメリカ）	52 万
・	・	・
13	東京	36 万
15	横浜	33 万

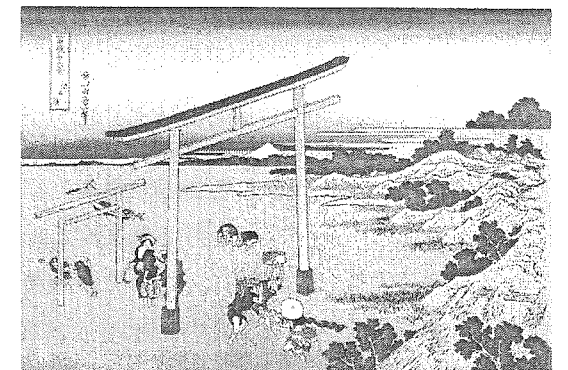
この 35 年間でコンテナを船で運ぶ貿易が大きく変化しました。日本の港の順位が下がっていることから、日本は世界の物流の変化におくれをとっていることがわかります。

「国際コンテナ戦略港湾」に指定された京浜港は、これから「ハブ港湾」として整備されることになりました。ハブとは自転車の車輪の中心のことで、航路や路線が同じような形で集中する港や空港などにも使われる言葉です。コンテナに荷物を入れてハブ港湾へ運搬してくれば、そこですぐさま別のコンテナ船に積みかえて輸出先の国の港へ運ぶことが可能になります。京浜港がハブ港として発展するためには、まだまださまざまな整備が必要です。こうした物流の変化は、東京湾に大きな変化をもたらすことでしょう。

次に、東京湾の漁業や、東京湾と人びとのかかわりについて考えてみましょう。

東京湾は全体的に浅く、寿司に使われる「江戸前」の魚介類は、目の前の浅瀬の海や干潟でとれたものでした。巻き寿司に使われる海苔も「江戸前」です。東京湾は水深 20m 以下の浅瀬が湾の面積の 75% にもなります。豊かだった浅瀬や干潟は、その多くが埋め立てられました。海苔の養殖は 1955（昭和 30）年ごろまで東京湾だけで全国の海苔生産の半分近くを占めていましたが、現在はほとんど行われなくなりました。

江戸時代の東京湾は漁業にかかわる人だけでなく、それ以外の人びとにも関心のあるものでした。浮世絵で東京湾と富士山を一緒に描いたものがあることはみなさんも知っているでしょう。とくに数多くのその風景画を残したのは（④）や葛飾北斎でし



た。(④)は『江戸名所百景』という作品で東京湾にあるおもな場所の風景を残し、また有名な『東海道五十三次』を描いています。前のページの葛飾北斎の浮世絵は、「登戸浦」という現在の千葉駅のすぐ西側の風景を描いたものですが、人びとが潮干狩りを楽しんでいるようすが描かれています。もちろん現在はこの場所も埋め立てられ風景は大きく変わっています。

第二次世界大戦後に東京湾内湾が埋め立てられていくにつれ、漁業は難しくなりました。漁場が埋め立てられてしまうだけでなく、工場からの排水や、急速な都市化による生活排水によって水質が悪くなったためです。1960年代には漁師たちは仕事ができなくなりました。千葉県では埋め立てが大規模に行われたため、1970年代末までに1万4000人ほどの漁師たちが漁業から離れました。現在、漁師はわずかに残るのみとなり、高齢化が進んでいます。こうして「江戸前」を支えていた東京湾の内湾での漁業は衰退してしまいました。

沿岸や流域の人びとにとって、現在の東京湾はどのような意味を持っているのでしょうか。すでに述べたように、沿岸に埋め立て地が広がり、工場が建ち並んで海に近づけなくなってきましたが、近年、人びとが海と触れあえるような場所が生まれています。東京のお台場や葛西臨海公園、千葉の幕張海岸のような人工海岸です。しかし人工海岸は東京湾本来の干潟のような自然海岸とは異なります。東京湾沿岸には遊園地などの娯楽施設も多くつくられています。こうした海岸の再開発は、1980年代以降に行われました。このころ日本は景気がよく、東京は首都として政治や経済の中心であり、情報も集中する場所となったのです。そのため、東京の周辺では、工場や倉庫があった埋め立て地に新しい高層ビル群が建設され、公園や人工海岸を設け、巨大な娯楽施設もつくられていきました。その後、こうした人工海岸や娯楽施設の人気は続き、海に面した場所に住宅街もできて、そこに住むことが流行となったりしています。しかし浮世絵のように目の前の海で潮干狩りを楽しむことはできないでしょう。海水浴場も今や東京湾では外湾に押しやられてしまいました。

最初に述べたように、東京湾の沿岸とそこに流れ込む川の流域には3000万もの人びとが住んでいます。多くの人びとが東京湾と何らかのかかわりを持っていることになりすが、生活に必要な物資が東京湾の港からたくさんもたらされていることは、あまり意識されていないのではないのでしょうか。それは、東京湾とかかわりをもつ人びとが、海上や運河などの水上交通にかかわることが少なく、港にも近づけないのでそこで行われていることがわかりにくいためののかもしれません。わたしたちは目の前の東京湾とそこにある港や水上交通に関心を持てば、これまでのわたしたちと海のかかわりについて考える手がかりを得られるのではないのでしょうか。

問1 1ページの地図のあ～えは東京都を流れ東京湾に注ぐ4つの川(荒川、江戸川、隅田川、多摩川)を示していますが、それぞれの川の名前の正しい組み合わせを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① あ.江戸川 い.荒川 う.多摩川 え.隅田川
 ② あ.荒川 い.多摩川 う.隅田川 え.江戸川
 ③ あ.多摩川 い.江戸川 う.荒川 え.隅田川
 ④ あ.多摩川 い.隅田川 う.荒川 え.江戸川

問2 下線部アについて。房総半島の沿岸で、三浦半島から最も近い場所は、3つの国(安房、上総、下総)のどれにふくまれますか。1ページの地図を見て答えなさい。

問3 文中の空らん(①)～(④)にあてはまる、最も適当な語を答えなさい。

問4 下線部イについて。

(1) 争っていた重要な産物とは何ですか。答えなさい。

(2) この争いに勝利して関東一帯を支配していた戦国時代の大名は何氏ですか。答えなさい。

問5 下線部ウについて。江戸時代の初めにつくられた運河は、水運以外に、江戸城や江戸の町全体にとってどのような役割を果たしていましたか。2つ答えなさい。

問6 下線部エについて。東北地方からの船が房総半島沿岸の海を回ってこなかったのはなぜですか。その理由を2つ答えなさい。

問7 下線部オについて。浦賀の正しい場所を1ページの地図のか～くの中から1つ選び、記号で答えなさい。

問8 下線部カについて。運搬されたゴミはどのようなことに使われたのでしょうか。答えなさい。

問9 下線部キについて。コンテナをあつかうことが広まったのは、どのような理由からですか。3ページの写真を参考にして2つ答えなさい。

問10 4ページの表1・表2について。

(1) 世界の物流の変化について、日本の港の順位が下がっていること以外にとくに大切だと思われる変化を2つ答えなさい。

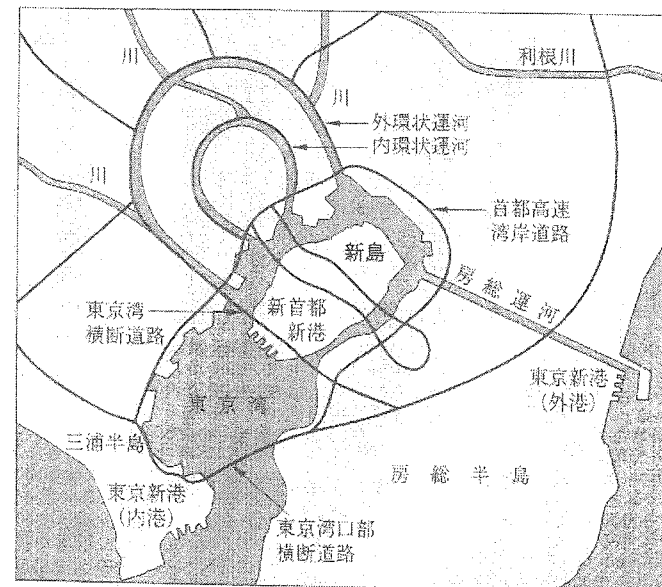
(2) 新潟や金沢と海外の間でコンテナを使って荷物を運ぶ場合、現在ではプサンやシャンハイを経由して運ぶことが多くなってきました。なぜ東京や横浜を経由して運ばれなくなってきたのでしょうか。その理由を2つ答えなさい。

問11 江戸時代から現在にいたるまで、東京湾の自然の地形や環境は大切にあつかわれてきませんでした。なぜ大切にあつかわれてこなかったのでしょうか。江戸時代から現在までに共通する理由を文章全体から考えて、40字以上60字以内で書きなさい。ただし、句読点も1字分とします。

〈以下余白〉

問 12 次の地図は、1988（昭和 63）年に提案されたある構想を示したものです。この年には瀬戸大橋が完成し、青函トンネルが開業しました。また当時の日本の社会のようすは 5 ページにも書かれています。

- (1) 地図を見て、さまざまな改造・開発の中で君が重要だと思うものを 1 つ示し、それが当時のどういう問題を解決しようとしていたのか答えなさい。
- (2) 当時と現在の日本の社会は大きく変化しました。地図にあがっているさまざまな改造・開発の中で、いま実現した方がいいと思うもの、あるいは、いま実現しない方がいいと思うものをどちらか 1 つあげ、その理由を 40 字以上 60 字以内で説明しなさい。ただし、句読点も 1 字分とします。



〈問題はここで終わりです〉

受験番号	
氏 名	

(2011年度) 麻 布

社会解答用紙(その1)

問1 問2 国

問3 ① ②
③ ④

問4 (1) (2) 氏

問5

問6

問7

問8

問9

(整理番号)

小 計

受験番号	
氏 名	

(2011年度) 麻 布

社会解答用紙(その2)

問10

(1)

(2)

問11

(40)

(60)

問12

(1)

(2)

(40)

(60)

(整 理 番 号)

小 計